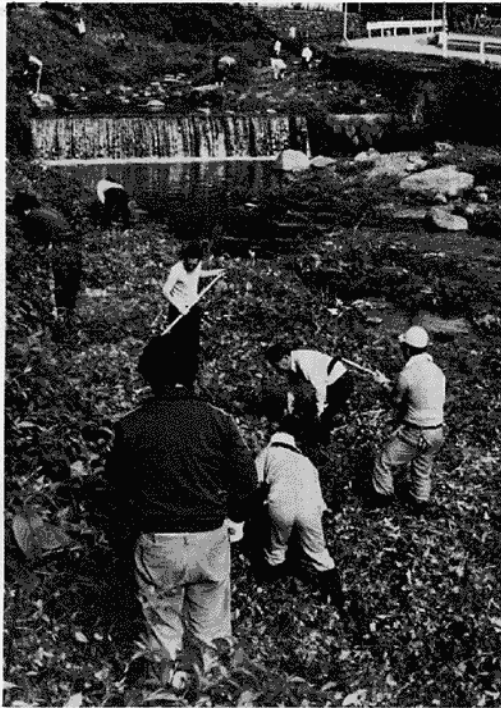


みんなのひろば

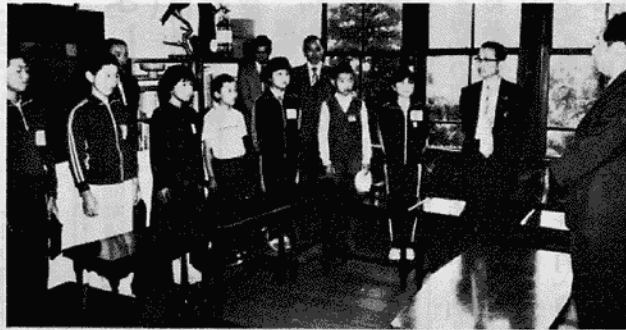
志渡 澗川 清掃

「きれいな街づくりは自分たちの手で」と六月六日早朝より、松原町自治会（倉田泰吉会長）の会員約八十名が参加し、志渡澗川を中心に児童公園などの清掃が行われました。

この清掃は、毎年六月の第一日曜日に行っているもので、すでに二十年近くも続けられており、町内の恒例行事となっています。志渡澗川は水量が少ないこともあって、川沿いには、雑草が五十七センチほどに、おい茂り、清掃にあたった人達も大変な様子でしたが、それでも、草刈鎌を手に、手際よく刈り取り、所定の場所の清掃を終りました。



志渡澗川の清掃をする松原町自治会の会員



出発前、市長の激励を受ける児童

子ども の 船

「栃木県こども船」は、六月二十五日に東京港晴海埠頭を「につぼん丸」で出航、八丈島付近を経て須美寿（スミス）島までの二泊三日の船旅を終え、二十七日無事帰港しました。

この船に参加した児童は、県内の小学校から選ばれた四百五十人で、日光からも各小学校から七人が参加しました。

日光から参加した児童七人は、出発前に六月二十四日に斎藤市長を訪れ、一人ひとり出発前の抱負を話し、また、市長からは「体に気をつけて、しっかり勉強してきてください」と激励を受けました。

子どもの船は、海のない本県の児童に海洋航海を体験させようと県が毎年行っているものです。

〔参加児童〕小菅文（日光小）埜田和夫（清滝小）、島田照子（野口小）、松井由美子（中宮祠小）、山本智之（所野小）、大橋広行（小来川小）、手塚欣之（安良沢小）

ゲートボール

久次良町に市内で三番目のゲートボール場が完成し、六月六日午前十時から松本老人会々長をはじめ、関係者四十名が参加し、開場

式が行われました。

開場式は、久次良町ゲートボール愛好会（会員四十名）伊谷会長のあいさつの後、この会場作りに貢献された登坂理平氏と、星野友一氏に感謝状が贈られ、つづいて松本老人会々長が始球式を行い、開場を祝いました。

この地区にも、老人の健康増進と憩の場にゲートボールの練習場がぜひほしいということから、昨年の九月に、榎菱屋（千明大作代表）東京都）から土地を無償で借用して作ったものです。

荒地だった土地を地元老人愛好会たちの手で、石積みや、砂を運んで整地をするなど並ならぬ努力により完成した練習場とあって、老人達をはじめ、関係者は喜びを隠しきれない様子でした。

久次良町のゲートボール大会



石川講師の指導を受ける受講者



楽しいゲーム

夏休みに向かい、子供達の体力づくりと、事故防止に役立ててほしいと、指導者を養成するレクリエーションリーダー養成講座が、六月十日、十一日の両日市の体育館で行われました。

参加者は、各町内の児童部の役員など二十名で、石川道義講師の指導により、ドリムを採り入れた体力づくりや、空気が、足習字、さかさ富士、タオルとびなど約二十種のゲームなど、どれも楽しく手軽にでき、しかも効果的な内容に、参加者達は「町内の行事の際には、さっそく子供達にも教えてあげよう」と、みんな「いい汗」を、かいていました。